

子どもへの予防接種

生まれたときに持っている病気への抵抗力（免疫）は、成長とともに失われます。

外出の機会が多くなると、感染症にかかる可能性も高くなります。予防接種は、ワクチンを使って病気の予防や症状を軽くするために免疫をつけるためのものです。対象年齢になったら、予防接種で早めに免疫をつけましょう。

●注意事項

◇定期の予防接種は無料ですが、対象年齢を過ぎると有料になります。

◇母子健康手帳の紛失などで、予防接種歴が不明の場合は、こども健康課で過去10年間分まで接種履歴を発行できます。ただし、大野城市に住んでいた期間に限ります。

※発行に約1週間かかります。

※詳しくは、問い合わせるか、かかりつけ医に相談してください。

●必要なもの 母子健康手帳など
(接種履歴を確認できるもの)

●問い合わせ先

こども健康課母子保健担当

☎(580)1965

種類		法律上の対象年齢 《標準的な接種年齢・時期》	回数(間隔)
ヒブ 小児用肺炎球菌	初回追加	生後2カ月～5歳未満 《生後2カ月～6カ月(開始月齢)》	接種開始月齢により異なる
B型肝炎		1歳未満 《生後2カ月～9カ月未満》	3回(27日以上の間隔で2回、1回目から139日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ※1)	1期初回	生後3カ月～7歳6カ月未満 《生後3カ月～1歳》	3回(20日以上)
	1期追加	生後3カ月～7歳6カ月未満 《1期初回終了後、1年～1年6カ月の間》	1回(1期初回終了後6カ月以上)
BCG		1歳未満 《生後5カ月～8カ月未満》	1回
麻しん風しん混合(MR) 麻しん・風しん	1期	1歳～2歳未満	1回
	2期	小学校就学前の1年間(平成23年4月2日～24年4月1日生まれ)	1回
水痘	1回目	1歳～3歳未満《1歳～1歳3カ月》	1回
	2回目	1歳～3歳未満 《1回目終了後6カ月～1年の間》	1回(1回目終了後、3カ月以上)
日本脳炎※2	1期初回	生後6カ月～7歳6カ月未満 《3歳》	2回(6日以上)
	1期追加	生後6カ月～7歳6カ月未満 《4歳》	1回(1期初回終了後6カ月以上)
	2期	9歳～13歳未満 《9歳》	1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	2期	11歳～13歳未満 《11歳》	1回
子宮頸がん※3		平成13年4月2日～18年4月1日生まれ 《中学校1年生相当》	3回(ワクチンの種類により間隔が異なる)

※1 三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)の接種を完了した人で、ポリオの接種(合計4回。生ワクチンの場合は合計2回。)を完了できていない場合は、単独不活化ポリオを接種してください。

※2 日本脳炎は、平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれの人は、20歳未満の期間に(2期は9歳から)、不足分を接種できます。平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人は、不足分を接種できます。ただし、接種時の年齢が7歳6カ月～9歳未満及び13歳以上の場合は対象外となります。詳しくは、問い合わせてください。

※3 子宮頸がんは、ワクチンとの因果関係が否定できない持続的な痛みが国へ報告されたため、国の決定に基づき、接種を積極的には勧めていません。